クロージングセッション

埼玉医科大学大学院理学療法学
赤坂 清和
弘前大学健康未来イノベーション研究機構
石田 水里
浜脇整形外科リハビリセンターリハビリテーション科
葉 清規
湖街ホスピタルリハビリテーション科
白谷 智子

第 14 回日本運動器理学療法学会学術大会の総括として，クロージングセッションを開催する．本学術大会を準備及び計画するにあたり，大会テーマを「運動器理学療法への動機付けと自信を教育する Educate Your Motivation and Confidence for the Success」とした．これは，これまでの運動器理学療法の学問や技能，評価などから，運動器理学療法を専門とする理学療法士の自己効力感や自信を高めることにフォーカスしたものである．その目的を達成するために，海外招聘講演として豪州の Peter O'Sullivan 教授による『Changing how we care for people with persistent low back pain』，韓国の Suhn-Yeop Kim 教授による『Shifting Paradigms in Pain Management：Professionalism and Evidence-Based Practice in Korean Musculoskeletal Physical Therapy』を開催した．特別講演として，北海道大学整形外科の岩崎倫政教授と関西医科大学の市橋則明教授に運動器理学療法の臨床及び研究に関するご講演をいただいた．さらに，教育講演として，本学会をリードする 12 名の先生方にご講演いただいた．また，特別企画シンポジウムとして，運動器理学療法士の現状と将来について，日本理学療法士協会の斉藤秀之会長をはじめとする海外事情や教育制度に詳しい講師，学際領域として作業療法士の講師，海外の Physical Therapy の臨床で活躍する講師らを交え，運動器理学療法の未来について語り合う機会を設けた．また，39 名の講師による 8 件のシンポジウム，7 名の講師による初日のオープニングセミナーと 6 名の講師による 2 日目のモーニングセミナーを開催した．さらに，複数のランチョンセミナー，生成 AI とエビデンス構築に関する 2 件のワークショップ，研究相談コーナーと学術雑誌編集委員会コーナーの特別企画を開催した．クロージングセッションでは，これらの本学術大会の企画により当初の目的とした大会テーマが達成されたかについて，参加者の皆様と検討することを楽しみにしている．

赤坂清和－パネリストを代表して－